
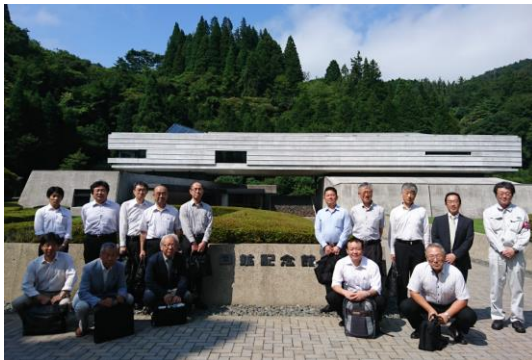


訪 問 記 録

レアメタル資源再生技術研究会

会 社 名	JX 金属環境株式会社、日鉱記念館	訪 問 日	平成 29 年 7 月 19 日(水)
訪 問 者	会長 藤田豊久、他 13 名 (別紙参照)		
対 応 者	JX 金属環境(株) 代表取締役 鈴木義昭 様、総務部 総務課 主任 福躍直哉 様 JX 金属(株) 日立事業所 HMC 製造部 部長 亀谷敏博 様 日鉱記念館 館長 木村政幸 様		
会 社 概 要 企 業 デ ー タ	<p>【JX 金属環境株式会社】</p> <p>会社住所：茨城県日立市宮田町 3453 番地 代 表 者：代表取締役社長 鈴木 義昭 資 本 金：資本金 2 億円 従業員数：72 名 (2017 年 4 月 1 日現在) 工場住所：茨城県日立市白銀町一丁目 1-2 /TEL：0294-23-7130 H P：http://jx-kinzokukankyo.co.jp/index.html</p> <p>【日鉱記念館】</p> <p>住 所：茨城県日立市宮田町 3585 H P：http://www.nmm.jx-group.co.jp/museum/</p>		
事 業 概 要	J X 金属グループの環境リサイクル事業の重要な拠点の一つとして、資源リサイクルを推進する。非鉄金属製錬で培った技術、クリーン Z 炉 (高温熱分解処理法) やリサイクル E 炉 (高温熔融処理法) などの高度な処理炉、そして首都圏に近い立地を生かして、廃棄物処理のソリューションを提供する。		
会 長 の 訪 問 後 記	<p>JX 金属グループの日鉱記念館において、会社の成り立ちから今年 4 月の JXTG ホールディングズになるまでの歴史を詳細にご説明頂いた。日本の多くの重要な会社が日立から生まれたことがよくわかる。</p> <p>ついで、JX 金属環境(株)において、ストーカ付きロータリーキルンを用いた液状産業廃棄物およびシュレッターダストや基板などの固形物を処理するクリーン Z 炉を案内頂き、さらに 1300-1500℃で熔融処理を行うリサイクル炉を見学させて頂いた。リサイクル炉では銅マットに有用金属を回収していると同時に、アスベスト処理をしている。銅マットは佐賀製錬所で処理される。さらに、JX 金属の HMC 工場周囲を見学し、現在は銅、亜鉛、ニッケル等を除く、貴金属やレアメタル等を回収していることを説明いただいた。見学後、リサイクル関係について多くの質問が出て有意義であった。以下に参加者との写真を示し、お忙しいところにも関わらず、工場を見学させて頂いたことを深謝する。</p>		
			
	JX 金属環境(株)にて		日鉱記念館にて